

# OBM マンスリー

## 2013.3月号 Vol.155

2013年3月28日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル2F  
TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145  
Eメール info@obm.or.jp  
ホームページ www.obm.or.jp

## 新役員が決定 臨時総会開催

平成25年3月27日14時からホテルコムズ大阪において臨時総会を開催しました。

現在の役員が、通常総会及び50周年記念式典を開催する平成25年5月30日で任期満了となるため、臨時総会で新役員を選出しました。今回の立候補者は理事が20名、監事が3名と、定数(理事20名・監事4名)以内であったため、当日は、当協会役員選挙規定第3条に定める信任決議を実施し、以下のとおり決定しました。

### 一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会 新役員 (平成25年5月30日就任)

#### 【理事】

会社名	役職	氏名	新任
朝日建物管理(株)	常務取締役	大西 信治	○
(株) 榮光社	代表取締役社長	澤村 剛士	
(株) 加藤均総合事務所	代表取締役社長	加藤 浩輔	
環境衛生薬品(株)	代表取締役社長	黒田 泰壽	○
関西マネジ興業(株)	代表取締役	岡田 寿代	○
(株) カンソー	取締役副社長	柑本 敏雄	
協和ビルサービス(株)	代表取締役社長	佐々木洋信	
(株) ケントク	常務取締役	小林喜一郎	○
(株) 下村工務店	代表取締役社長	下村 康信	○
信栄ビルサービス(株)	代表取締役	山田 吉孝	
(株) ジェイアール西日本メンテック	代表取締役社長	高橋 司	○
星光ビルサービス(株)	常務取締役	谿口 秀一	○
太平ビルサービス大阪(株)	取締役本部長	笹岡 之洋	
(株) 高浄	代表取締役	長井 正樹	
東宝ビル管理(株)	代表取締役社長	越智 幸次	
(株) ビケンテクノ	代表取締役会長	梶山 高志	
(株) 美交工業	専務取締役	福田久美子	
ビューテック(株)	取締役総務企画部長	大谷 嘉和	○
マンネンサービス(株)	代表取締役	大川 達良	
ロイヤルエアポートサービス(株)	代表取締役社長	荒木 周	

(社名50音順、役職は平成25年3月27日現在)

#### 【監事】

会社名	役職	氏名	新任
内部監事			
三和建物管理(株)	取締役会長	伊勢本吉生	
(株) 三橋商会	代表取締役	三橋 一夫	○
外部監事			
小山会計事務所	—	小山 誠	

(社名50音順、役職は平成25年3月27日現在)

なお、今回選出された方の任期は、平成25年5月30日の通常総会終了時から平成27年5月に予定されている通常総会終了時までです。

## スームアップ

### 経営委員会について

日本銀行が発表している「企業向けサービス価格指数」によると、2012年のビルメンテナンス関連の指数は05年を基準とすると建物サービス（清掃・設備管理・衛生管理）については92.2（前年より-0.8%）、警備業務については94.1（前年より-1.1%）と、依然として厳しい状況が続いています。

その中で我々経営委員会は、ビルメンテナンス業界が事業を継続し新しい時代に対応できるようにすべく「人材確保・育成」「品質・コスト管理」「ビルメンテナンス企業に求められるもの」「CSR経営」「環境への取組」について取組を実施し、会員企業様の経営維持向上に寄与できる事を目指し活動しております。

経営委員会としての一年間で最も大きなイベントとしては講演会があります。毎年、会員企業様が興味を持たれているであろうトピックを検討し、講師を探し、会場を確保し…と大変準備に時間が掛かります。

今年度（24年度）については、一昨年に発生した東日本大震災を踏まえ、突発的な危機が発生した時にビルメンテナンス企業がどの様に対応し事業継続を図っていくかというテーマが最も会員企業様の興味を引くのではないかと考え、東日本大震災について宮城県ビルメンテナンス協会の鈴木良夫様、更にそれ以前に発生した阪神淡路大震災について株式会社石原アメニテック代表取締役の石原勉様、新潟中越地震については株式会社新潟ビルサービス設備部次長の伊藤功様をお招きし、過去の震災の記憶を風化させず教訓として未来に生かすための講演を頂きました。更に近年発生するであろう

と予測されている「東南海・南海地震」に備えた大阪府の防災対策について大阪府政策企画部危機管理室危機管理課企画推進グループ総括主査の神田孝志様をお招きし講演頂きました。

毎年、講演会の案内を会員企業に送信すると、何社何名ご参加いただけるだろうと期待と不安を抱えておりますが、今回は47社100名超の参加申し込みを頂く事ができました。また、今回の講演会においては関連団体であるビルディング協会の方々も多数ご参加頂き、皆様に興味を持っていただけた事に、ほっと胸を撫で下ろしました。

来年度についても引き続き皆様に興味を持っていただける様な講演会を企画致しますので、是非ご参加宜しくお願い致します。

（経営委員会 委員長 柑本敏雄）

## 24年度 第12回 理事会

3月22日（金） 協会会議室

### 1. 報告事項

- ①第11回理事会決定事項  
正会員テクノパークの入会について

### 2. 審議事項

- ①平成25年度事業計画案および予算案について/承認

- ②正会員(株)オオヨドコーポレイションPテックス社の退会について/承認

- ③全協報告
- ④委員会部会報告

### 3. その他

- ①50周年記念行事について

## 委員会・部会

### 経営委員会

2月21日（木）出席者10名 協会会議室

- 青年部分科会活動報告  
・今年度の活動として  
→工場見学等を通じてビルメンテナンス業界に関連する事業等を研究した。  
→鹿児島にて行われた全国ビルメンテナンス青年部大会に参加し、他協会の青年部会の活動内容等の情報交換を実施した。
- ビルディング協会との合同委員会について  
・開催は4月以降とする。  
・内容は先月意見の出た危機管理体制についてというテーマではなく、ビルメンテナンス業界からビルオーナーへの提言等とした方が良くはないかという意見が出た為、再検討することとなった。
- OBM50周年記念事業について（2013年5月29日・30日）  
・記念事業について経営委員会の役割について説明があった。

### 広報委員会

2月13日（木）出席者8名 協会展示室

- 「OBMマンスリー」2月号の編集作業を行った。
- 「OBMマンスリー」3月号の掲載内容を検討した。
- 50周年記念誌の構成等を検討した。
- 「OBM人語」第Ⅲ集の編集方法等を検討

した。

### 総務友好委員会 賛助会世話人会

1月25日（金）出席者15名 協会展示室

協会設立50周年記念展示会打合せ  
パンフレット、また抽選会内容等につき検討した。

### 労務委員会

2月20日（水）出席者13名 協会会議室

- 2月27日に開催の労務管理セミナーについて  
・講師資料の確認を行った。
- 来年度事業計画について  
・各項目について運営内容の検討・確認
- 安全衛生規定の見直しについて  
・法令内容の更新など全国協会に確認予定
- 1月分労働災害報告  
業務災害8件、通勤災害5件

### ビルクリーニング部会

2月15日（金）出席者20名 協会会議室

全体会議

- A班 免許皆伝 ビルクリーニング必読書 新版の最終確認
- B班 各種床材別 トラブル事例と対策の最終確認

### 警備防災部会

2月7日（木）出席者14名 協会研修室

- 暴排条例のDVD貸し出しについて

「解説！ 暴排条例」～これからの暴力団対策～

- 3月8日開催の警備員指導教育責任者実務研修会の内容を確認した。
- 警備員教育資料の紹介  
(1) 刑法瓦版&懲役と禁錮に新制度  
(2) 消防法令の改正概要
- 暴力団追放府民大会参加結果
- 「ドロッカー」について
- 震災危機管理セミナー参加報告

3月5日（火）出席者14名 協会会議室

- 平成24年度の事業報告  
委員会…9回 講演会…1回 見学会…1回 夏季特別研修会…1回 防災実践講座…2回  
警備防災部会全体集会…1回 警備員指導教育責任者実務研修…1回
- 平成25年度の事業報告につき検討した。
- 平成25年度収支予算につき検討した。
- 平成25年度年間行事担当委員を発表した。
- 3月8日（金）警備員指導教育責任者実務研修会について内容確認を行った。

### 設備保全部会

1月24日（木）出席者37名

関西電力(株)堺港発電所  
関西電力(株)堺港発電所見学会

研修会の主旨

- 見学施設 - 1（電力事業内容等をVTRで説明・堺港発電所PR館内の説明と質疑応答）  
①電力事業の説明…敷地（約76万㎡）全体内の各発電施設説明とVTRで一般家庭を想定した、環境家計簿（CO<sub>2</sub>排出量の視点）から見た場合、ガソリンが31%、電気が40%を占めている為、如何に効率的に電気を使用する事と効率的な発電が重要との内容で判り易く構成されていた。  
②PR館の展示ブース…「低炭素社会の実現に向けて」をテーマに、堺太陽光発電所敷地内で設置している各施設全体展示や、堺港火力発電所が採用している最新技術の「コンバインドサイクル」（LNGを燃料）発電方式で「ガスタービン」と「蒸気タービ

ン」での構成により効率化を図った発電システムの展示物を見ながら説明を受けた。

## 2. 見学施設 - 2 (火力発電所をバスで外観見学)

この堺港発電所は、1964年に油焚方式の発電機1号機をスタートさせ、1971年の8号機運転にこぎつけ、その後1974年からは、燃料をLNG化に順次切り替え、更に2009年からは「コンバインドサイクル」による新発電機1号機をスタートさせ、2010年には5号機を稼働させた。

従来の発電機では8台(現在は全て休止中)で総出力200万KWを発電していたが、新発電機方式では5台にコンパクト化して、従来と同量の総出力200万KWを確保していた。

その事を煙突の数や発電施設等のボリュームが約1/2以下の設置面積で可能にした事が物語っていた。

## 3. 見学施設 - 3 (中央制御室を建物内で施設説明)

従来の発電機方式では発電機近くに制御室を設置していたのを、新発電機方式では発電機から離れた位置の管理棟で遠隔監視をされていた。第一印象はこれだけの発電設備を監視している割に、監視機器類の少なさ(見た目)にビックリした。

### <新発電機施設>

それと何かトラブルが発生した時に相互応援を可能にする為に、保守管理要員の事務室と中央制御室をガラススクリーンで隣接をさせた発想の転換がされていた事に注目した。

## 4. 見学施設 - 4 (太陽光発電所を別敷地での外観見学)

元々この敷地は産廃の埋立地(約21万㎡・大阪府)なので、利用に関して色々と制約条件の中、20年間の借地上にソーラーパネル(約74,000枚)を設置して1万KWの発電が可能な施設として2年前から稼働していた。

第一印象は、架台等の構造が簡素な感じを受けた理由として、パネル設置に創意工夫し傾斜角度を15°に抑えパネル同士による影が出来ない様にした結果、架台を小さく出来、荷重の軽量化も図っていた。

更に地盤沈下を想定して2次元の歪み調整が可能で、且つ簡単に据え付けが可能な架台を考案し、特許申請をしているとの事だった。この様な、特殊(産廃埋立)な敷地には適した施設誘致だと感じた。

2月8日(木) 出席者39名 協会会議室

## 環境衛生業務研究小委員会 “これからの都市緑化について”

平成23・24年度の調査研究テーマである「ビルの緑化」についての集大成として講演会を開催。

テーマ:「これからの都市緑化一より効果を高める発想の転換」

講師:高田昇氏(たかだすすむ)

都市計画家、立命館大学教授、

講演内容:

- ①日本の自然環境の特性を知り、生かす
- ②都市緑化一身近な植物の効果が果たす役割
- ③建築緑化(屋上緑化、壁面緑化)の意義
- ④建築緑化の方法
- ⑤植栽計画にあたっての発想の転換

2月26日(火) 出席者16名 協会会議室

## 設備保全部会第10回委員会

### 1. 各小委員会活動報告

(管理技術調査研究)

次年度研究テーマ案「設備機器のデジタル化」及び技術レポート作成。

(研修・見学会)

①1月24日に実施された「関西電力(堺港発電所見学会)」の報告。

②次年度研究テーマ案別紙「H25年度研修・見学会の運営計画について(案)」及び技術レポート作成。

③「平成24年度省エネ大賞受賞者の決定について」の説明。

(設備保全業務研究)

次年度研究テーマ案「継続テーマの性能発注方式と基準合意書(SLA)の結論と方向性」及び技術レポート作成。研究テーマの進め方については、全4章を各メンバーで分担して行う。

(環境衛生業務研究)

①2月8日に実施された「“これからの都市緑化について”の講演会」の報告。

②3月末頃に小冊子完成予定。

## 近畿地区本部だより

### ●第43回実態調査結果まとまる

全国協会が毎年行なっている実態調査の今年度(第43回)の調査結果がまとまりました。

本調査の報告は、『ビルメンテナンス情報年間2013』に掲載され、回答していただいた会員企業様に3月末頃送達文書にてお送りする予定です。追加分のご希望や、回答いただけなかった会員企業様も有償(会員価格)にてお求

め頂けます。(公社)全国ビルメンテナンス協会のホームページ(<http://www.j-bma.or.jp>)からお申し込み下さい。IDとパスワードは(公社)全国ビルメンテナンス協会にお問合せ下さい。

### ・調査実施概要

第43回調査は、昨年6月22日から8月20日の期間に実施、会員企業2,823社(本社2,435社、支社・営業所393社)を対象に調査票を配布、回答数は、本社が1,062社(回収率43.6%)、支社・営業所が186社(同44.1%)で、合計1,248社(同44.1%)となりました。回収率は前回調査(46.5%)を下回りました。

## 大阪協会だより

### ●第13回全国ビルクリーニング技能競技会参加者の推薦依頼について

3月19日付FAXにてご案内しておりますが、10月30日(水)31日(木)に「さいたまスーパーアリーナ」で開催される「ビルメンヒューマンフェア'13」において、第13回全国ビルクリーニング技能競技会が開催されます。近畿地区の予選会を実施いたしますので、参加者のご推薦をよろしくお願いたします。

○予選説明会・抽選会 4月18日(木)13時～

○会場 (一社)大阪ビルメンテナンス協会 6F研修室

○予選会 5月13日(月)14日(火)

○締切り 4月5日(金)必着

※詳細は事務局までお問合せ下さい。

## 会員だより

### ●代表者変更

〔正会員〕

・株式会社大阪ビル管理

(新)代表取締役社長 小川健一様

(旧)代表取締役 小川卓也様

(小川卓也氏は代表取締役会長に就任)

(平成24年11月より)

・東洋美工株式会社

(新)代表取締役社長 有田哲雄様

(旧)代表取締役社長 藤川喜八郎様

(平成25年3月より)

### ●住所変更

〔賛助会員〕

・サン工業株式会社

〒577-0048

東大阪市西堤西3番2号

(電話・FAX番号は変更ありません)

(平成24年11月より)

## 講習会お知らせ

### 訓練センターだより

#### ●平成25年度ビル設備管理技能検定受検準備講習のご案内

・受付期間 4月17日(水)～5月16日(木)  
・受講資格 平成25年度1級または2級ビル設備管理技能検定の受検申請手続きを済ませた方で、事業主から推薦を受けた方。

※受講案内をご希望の方は、事務局までご連絡いただくか、(一財)建築物管理訓練センターのホームページからダウンロードして下さい。

### 近畿地区本部だより

●平成25年度ビル設備管理(1・2級)

#### 技能検定のご案内

・受付期間 4月23日(火)～5月13日(月)

・実技試験(問題公表) 6月14日(金)

・実技試験(実施期間) 7月2日(火)～

8月24日(土)

・(1級)実技ペーパーテスト・学科試験

8月25日(日)

・合格発表 10月21日(月)

※受検申請書をご希望の方は、大阪協会事務局までご連絡いただくか、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター(<http://study.j-bma.or.jp>)でダウンロード、もしくはネット申請(受付期間中)もできます。

●平成25年度(第20回)病院清掃受託責任者講習のご案内

・講習日程 近畿 1回目 8月1日(木)  
2日(金) 2回目 8月8日(木)9日(金)

・会場 大阪国際会議場

・募集人員 1回目 新規150名 再230名

2回目 新規230名 再150名

・受付期間 4月1日(月)～12日(金)

・受講料 会員 新規 29,000円

再 26,500円

【会員の場合、JASMIN IDが必要です。不明な場合は事務局までお問合せいただくか、JASMINホームページでも照会できます。】

・受講資格 医療機関の清掃業務を含む清掃業務に3年以上の経験を有する者

※新規講習の案内ご入用の向きは、大阪協会事務局までご連絡いただくか、(公社)全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター (<http://study.j-bma.or.jp>) でダウンロード、もしくはネット申請(受付期間中)もできます。

※再講習は、平成21年度の講習を受講された方となります。該当の方へは(公社)全国ビルメンテナンス協会本部より直接講習案内を送付いたします。前回と送付先が変わっている方は、至急変更手続きをお願いいたします。「申請事項変更届け」は事務局にございます。講習案内は、(公社)全国ビルメンテナンス協会アビリティセンター (<http://study.j-bma.or.jp>) でダウンロード、もしくはネッ

ト申請(受付期間中)もできます。  
なお、修了証書の有効期限は4年間となります。一度有効期限が切れた方は、恐れ入りますが新規講習を受講下さい。

#### ◆ビル管理教育センターだより

##### 厚生労働大臣登録講習会予定

###### ●貯水槽清掃作業監督者(新)

平成25年5月13日(月)～16日(木)

受付 平成25年3月26日(木)～4月1日(月)

###### ●空気環境測定実施者(新)

平成25年5月20日(月)～24日(金)

受付 平成25年4月2日(火)～4月8日(月)

###### ●建築物環境衛生管理技術者

平成25年6月3日(月)～20日(木)

受付 平成25年4月3日(水)～9日(火)

###### ●防除作業監督者(新)

平成25年5月27日(月)～31日(金)

受付 平成25年4月9日(火)～4月15日(月)

☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※お問い合わせ先

関西支部

豊中市新千里東町1丁目4番1号

阪急千里中央ビル9階

T E L 06-6836-6605

※財団法人ビル管理教育センターは、平成25年4月1日より「公益財団法人日本建築衛生管理教育センター」に名称変更になります。

## 私のウォーキング

理事 山本茂文

私の朝一番の日課はウォーキングです。朝4時40分に起床し、約1時間10分歩きます。その後、朝食をとりシャワーを浴びて会社に出かけます。

休日は、特段の用事が無い限り2時間30分位歩きます。この習慣は20年以上続いています。歩数と実際の距離は平日は7300歩～約6.2km、休日は16000歩～約13kmになります。

もともと始めたきっかけは、40歳半ばごろに体調を崩し、医者に見てもらったところ『血圧が高い、運動をして体重を落としたり』と助言を受けたのが始まりです。今ではウォーキングをしない日(大雨の日等)は気持ちがすっきりせず苛々することもあります。このように長年ウォーキングを続けたことについて私なりに大きなメリットがあります。

まず第一点目は健康によいことはいまでもありません。毎晩外食でアルコールを欠かさない私にとって、運動によるカロリー消費はダイエットまではいかなくても相応の効果があること。

二点目は小さな世界ではありますが、自然を身近に感じることです。木々や草花、水鳥が四季の移ろいと共に変化する姿を眼にした時は、幼少の頃の懐かしい感激が沸き起こってきます。最近では翡翠(かわせみ)の翡翠色(ひすいいろ)の姿を見た時の喜びは一入(ひとしお)でした。

三点目は冷静に考える時間を持ち、自分の行動計画を整理することができることです。欧陽脩(北宋の文学者・政治家)の言葉に『山上』というのがあります。つまり良い考えの生まれやすい時は『馬上、枕上、廁上』(「乗り物に乗っている時」、「布団で寝ている時」、「便所の中」)とありますが、さしずめ私の場合は【歩上】ともいべきか、ウォーキングの時間に色々な考えが湧いて来ます。自分なりにいい考えが浮かんだと思った時には、その場でスマホに記録したりするものです。

人には夫々、固有の生活リズムがあり、皆様は別の方法で考えを整理されたりアイデアを練ったりされているでしょうが、大げさに言えば私にとってウォーキングの時間は人生や仕事の悩みを解決する大切な時間となっています。

冬場は出発の時、帰宅の時も真っ暗の時間帯ですが、これからの季節は大変清々しい時間帯のウォーキングとなります。早起きが苦手でない方には是非おすすめです。

## K K C お薦め講習会(4月)

4月開催予定の(一社)関西環境開発センター主催の講習会は、次のとおりです。受講をご希望の方は早めにお申し込み下さい。講習会場は新清風ビルです。

なお、詳細はK K Cのホームページ(URL <http://www.bmkkc.or.jp/>)にも掲載しております。受講申込書がダウンロードできますので、内容をご確認のうえ、必要事項を記入してF A Xにてお申し込み下さい。

申込・問合せ先：一般社団法人関西環境開発センター

(K K C) 教育訓練部

電話：06-6372-9123

FAX：06-6450-8038

### ●ビル清掃業務入門コース

クリーンクルーの新規採用者・新入社員を対象に、ビルクリーニングの洗剤、ワックス等の基礎知識とほうき、モップ、ポリッシャー等の基本作業を身に付けていただく、1日で修了する実技中心のコースです。

<対 象> クリーンクルーの新規採用者・新入社員

<日 時> 平成25年4月19日(金) 9時～17時

### ●警備員現任教育

昨年度より大阪府警察本部のご指導を得て実施している講習会で、9月まで各月1回実施予定です。ビルの安全・安心を守る警備員のための、防災面を重視した現任教育ですので、多数の警備員の方の受講をお願いいたします。なお、受講修了者には「教育実施証明書」を交付いたします。

<対 象> 施設警備を担当する現任警備員

<日 時> 平成25年4月23日(火) 9時～18時

○K K Cの警備員現任教育の平成25年度前期日程が下記のとおり決定しています。警備業者は、従事させている警備員に対して、警備員指導教育責任者等の有資格者により、必ず各期ごとに1回現任教育を受けさせなければなりません。シフト等を繰り合わせて教育機会を逃さないようにしましょう。

4月	前 述	7月23日(火) 9時～18時
5月22日(水)	9時～18時	8月21日(水) 9時～18時
6月20日(木)	9時～18時	9月19日(木) 9時～18時

○BM行事予定

3月	25	月	
	26	火	設備保全部会
	27	水	臨時総会(ホテルコムズ大阪)
	28	木	
	29	金	
	30	土	
4月	31	日	
	1	月	第6回ビルメン子ども絵画コンクール展示会(～5日)
	2	火	
	3	水	
	4	木	
	5	金	
	6	土	
	7	日	
	8	月	
	9	火	総務友好委員会 警備防災部会
	10	水	経営委員会 青年部分科会 賛助会世話人会
	11	木	
	12	金	KKC公園等運営委員会
	13	土	
	14	日	
	15	月	労務委員会
	16	火	
	17	水	広報委員会 公益・契約事業委員会 KKC教育委員会
18	木	ビルクリ競技会説明会 KKC監事会	
19	金	KKCビル清掃入門コース	
20	土		
21	日		
22	月	KKC理事会	
23	火	KKC警備員現任教育 KKCビル設備管理新任訓練(～30日)	
24	水	理事会	

労務委員会 労働災害事故事例 (H25年1月度発生分より)

1月度の報告企業数67社、業務災害は8件、1ヶ月以上の休業見込は0件、8日未満が8件という結果で、通勤災害は5件、1か月以上の休業見込みは2件でした。

今回は休業見込90日という大きな事故となった自転車による通勤災害のケースをご紹介します。

1月11日6時20分頃、60歳男性の方が、自宅から自転車に乗り、駅に向かう途中交差点の歩道で信号待ちしている時に、前方の車道を通じた自動車が自転車の前輪をかすめて通り抜け自転車ごと左方向へ倒され、歩道へ左側身体を強く打ち付け左半身全体にけがをした。

左第1～4肋骨骨折、左肩鎖間接脱臼、頸椎捻挫という大けがをされ、休業見込90日、うち入院日数は13日に及びました。昨今自転車による通勤災害が急増していることもあり、また一歩間違えばこのような大きな事故となりうるものが改めて浮き彫りとなった案件です。



おたより紹介コーナー

『おたより紹介』のコーナーへの投稿を募集しています

- 題材・・・自由。  
協会への提言、季節雑感、詩、短歌、俳句、川柳等々、何でも結構です。
- 字数・・・15字×16～19行の間に、本文、会社名、筆者名を全て記入して下さい。

「第6回ビルメン子ども絵画コンクール」大阪地区入賞作品展示会を開催します。

全国ビルメンメンテナンス協会主催の「第6回ビルメン子ども絵画コンクール」の入賞作品展示会を、4月1日(月)～5日(金)まで、当協会で開催いたします。

今回は「未来のおそうじーきれいにしよう 私たちの環境をー」をテーマに募集したところ、全国から9,691作品の応募があり、この展示会ではコンクール入賞作品の中で大阪府下からの応募分42作品を展示いたします。子どもたちの創造性に溢れた作品をこの機会に是非ご観賞ください。

1. 日 程 4月1日(月)から5日(金)まで 10時～16時
2. 会 場 大阪ビルメンメンテナンス協会 1階展示室  
アクセスは → <http://www.obm.or.jp/outline/>
3. 展示作品 タイバックスR特別賞「おそうじロボット」(宮崎優菜さん 小学3年生)をはじめ、リンレイ特別賞1作品、銀賞2作品、銅賞38作品の合計42作品を展示

編集雑感

寒い日と暖かい日が入り交じってきましたが、そろそろ季節の変わり目でしょうか。毎年この頃にマンスリーの雑感を書くのが恒例になっています。というのも、今もマスクをかけながらこの原稿を書くために、話題を考えているとまた花粉症の話になってしまいました。

近頃は、花粉以外にも黄砂やPM2.5などというもので飛んでいるからでしょうか、ひどい時は朝起きると、その瞬間から目がゴロゴロし、喉の奥が痒くなることがあるので、我が家でも空気清浄器を新たに購入しました。普段の対策としては、外に出るときは、薬とマスク、鼻に塗る花粉ブロックでプロテクトし、外から帰ると必ず手洗いとうがいは欠か

せないですが、着替えをして目を洗うことも忘れずに行います。それに追加して、室内の対策に空気清浄器で、これだけやれば完璧でしょうか。文明の利器にかなりお世話になっています。

心配するのが花粉だけだと、対応のしようもありますが、話題になっているPM2.5という有害物質には対応のしようがありません。しかし、振り返って見ると、日本も高度成長期には色々と体によろしくないものが飛んでいたと思ひ出します。最近ではめっきり聞かなくなりましたが、私が小学校の頃、30年前の大阪北部では、よく光化学スモッグ警報が発せられ、屋内に避難していたことを思い出します。教科書にも工業排水や家庭排水による河川の汚染や、排ガス汚染が問題になっていましたが、少なくとも今の

日本ではあまり話題にならなくなってきました。それは日本の中から工場や車が減ったのでしょうか。それよりも、排水や排気ガスによって、空気や河川を汚さないように工夫をして来たからだと思ひます。

今まさに問題となっている有害物質を出している国も今後はこれまでの日本のような工夫をしていくのでしょうか？ それは経済の発展には必要なのでしょう。それとも、汚染がひどくなってますます空気清浄器が売れるようになるのでしょうか。外出するために空気清浄器が背負えるくらいに小さく工夫されて行くのでしょうか。そしてわたしたちはその文明の利器にお世話になるのでしょうか。それともいい空気が吸える環境に改善していくのでしょうか。(T.K)